

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

順天堂大学小児外科での研修を終えて

三重大学消化管・小児外科

松下 航平

日本臨床外科学会の国内外科研修制度を用いて、2021年2月1日から26日までの4週間、順天堂大学医学部附属順天堂医院、小児外科・小児泌尿器生殖器外科で研修に参加させていただきました。今回の研修にあたり、快く受け入れてくださいました、順天堂大学医学部附属順天堂医院、小児外科・小児泌尿器生殖器外科の山高篤行教授をはじめとした諸先生方に、心から感謝申し上げます。

私は、三重大学卒業後、三重大学附属病院の消化管・小児外科に入局し、現在、小児外科に専従しております。卒後、当科の関連病院のみに勤務していたため、他施設の手術方法や治療方針などについては、学会などでお話を聞く程度で、あまり詳細に知りませんでした。他施設の治療方法や、当教室であまり経験していない疾患につき、他施設でどのように治療されているのか疑問を持っていた時、この制度のことを上司から教えていただき、すぐに申請をさせていただきました。また、順天堂大学小児外科・小児泌尿器生殖器外科は、日本の小児外科分野において、症例数も日本トップクラスであり、小児泌尿器生殖器の手術症例も多く、また、ロボット手術など最先端の治療を実践されている施設であり、研修病院に選択させていただきました。

研修初日に、まず驚いたのが、想像以上の患者数と手術数でした。小児外科としての病床が40床あり、毎週定期的のmajor手術やminor手術が20例前後あり、さらに緊急手術もこなすといった状況で、最初は患者様の把握をするだけで精一杯な状態でした。その上、小児のロボット手術や小児泌尿器疾患手術など、いままで見たことのない症例や、major手術も多く、大変勉強になりました。また、三重大学附属病院や、その関連病院でのみ従事してきた私にとって、工夫された手術道具や手技、術前・術後管理などを教えていただくことができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。

また、毎朝のカンファレンスでは、ほぼ全ての病棟患者様のプレゼンが簡潔明瞭にされており、治療方針や退院に向けてのプランを若手の先生方が説明されているのを見て、大変驚きました。さらに、当直医から、前日の緊急入院患者だけでなく、外来対応や電話対応した患者様の報告もあり、スタッフみんなで情報共有し、ほうれんそう（報告・連絡・相談）を徹底する姿勢は、見習うべき点が多く、今後より一層意識していこうと思いました。

また、手術に関しては、より安全で安心なベストな治療を心がけておられ、大変感銘をうけた症例がいくつもありました。

一例として、他院で腎盂尿管移行部狭窄症に対し、腎盂形成術を施行後に再発し、順天堂へ紹介となった方がいらっしゃいました。ロボット支援下腹腔鏡手術の予定で、病変部位を同定し、狭窄部の切除を施行しましたが、吻合予定部の距離が遠く、再吻合困難なため、開腹移行となった症例でした。私は、手技の正確性、スピードに驚くとともに、開腹へのコンバージョンのタイミングなど、術前からしっかりといろいろなパターンをシミュレーション出来ていたからこそ、安全でベストな手術が出来たのだと、感銘を受けておりました。手術は無事終わりましたが、術後すぐに、術中の改善点についてや、吻合のアプローチ方法を変えれば、ロボット支援下での手術が可能であったかもしれないというディスカッションをお聞きしました。一つの症例に対する術前の準備をしっかり行い、ベストの治療を目指すだけでなく、術後にももっといい方法で手術が出来たのではないかと、次はこうしたらもっといい状態になるは

ずだと考え続けることで、さらにベストな治療を行えるだけでなく、新しい治療法の可能性を見つけたり、新たな臨床研究などに繋がっていくのだと感じました。

また、どの先生方も、手技が非常に速く、的確で、一例一例の症例に対し、非常に丁寧な手術を心がけておられました。このような技術と知識の積み重ねや、症例に対する真摯な姿勢により、患者様が良好な臨床経過をたどり、多くの患者様やご家族から安心や信頼を得られ、症例が多く集まることに繋がっているのだと思いました。

4週間という短い期間でしたが、順天堂大学小児外科で多くの症例や手術について学ぶことができ、非常に有意義な研修をさせていただきました。山高教授をはじめ、多くの先生と症例の考え方や手術方法、周術期管理などにつきお話させていただき、たくさんのことを教えていただきました。また、症例のみでなく、後進の先生の育成方法や医師としての姿勢なども聞くことができ、大変感銘を受けることが出来ました。誠にありがとうございました。また、今回の研修を通して、今までの自分に足りなかった部分などを確認することが出来ました。この研修で得た経験を基に、今後の手術・診療に活かしていきたいと思います。

このような貴重な機会を与えていただきました日本臨床外科学会会長の万代恭嗣会長、国内外科研修委員会の高山忠利委員長をはじめ、委員・スタッフの方々に心より御礼申し上げます。また、ご推薦いただきました日本臨床外科学会三重県支部長の水野修吾教授に深く御礼申し上げます。そして、この研修にあたり、快く送り出していただいた当科教室員の皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。